

令和元年度 第2回

茨木市居住施策推進委員会

— 会議録 —

会 議 録

(敬称略)

会議の名称	令和元年度第2回茨木市居住施策推進委員会
開催日時	令和元年10月8日（火）午後1時00分開会・午後2時30分閉会
開催場所	市役所南館3階防災会議室
委員長	檜谷 美恵子
出席者	〔 委 員 〕 檜谷 美恵子、吉田 友彦、白倉 典武 <以上学識経験者等> 榊野 照子、室 節子 <以上関係団体推薦> 板倉 幸司、與那城 千恵 <以上市民> (以上、計7名)
欠席者	鈴木 依子、上崎 哉、岡田 藤男
事務局	井上副市長、岸田都市整備部長、 中野居住政策課長、谷本居住政策課課長代理
議題(案件)	<ul style="list-style-type: none"> ・茨木市居住施策推進委員会委員長の選出について ・会議の公開について ・計画の構成案について ・基本理念と居住施策のテーマについて ・具体的施策(案)について
傍聴者	0名

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○事務局	ただ今から令和元年度第2回茨木市居住施策推進委員会を開会する。 開会にあたり、井上副市長からあいさつを申し上げる。
○井上副市長	(あいさつ)
○事務局	本日の出席状況は、委員総数10名のところ、出席者は7名となっている。 事務局の出席者を紹介する。 (副市長、部長、課長、課長代理、職員を順次紹介) 当委員会の委員長、副委員長の選出に移る。委員長、副委員長の選出は、委員会規則第5条第1項の規定により、委員の互選となっている。 まず委員長の選出をお願いしたいが、事務局から、居住学を専門にされ、当分野について幅広く知識をお持ちの檜谷委員を推薦したいがよろしいか。 (異議なし) 檜谷委員に茨木市居住施策推進委員会委員長をお願いする。 続いて副委員長の選出をお願いしたいが、副委員長は委員長が欠けたときに職務を代行することになっており、委員長の氏名により選出するものとなっているが、委員長いかがか。
○委員長	副委員長は、都市・住環境政策の専門家で、当分野について幅広く知識を持っている吉田委員をお願いしたいがよろしいか。 (異議なし)
○事務局	吉田委員に茨木市居住施策推進委員会副委員長をお願いする。 それでは、本委員会の進行を檜谷委員長をお願いする。
○委員長	委員長を務めさせていただくので、協力を賜りたい。 それでは、次第に沿って議事を進める。まず、議事の公開についてお諮りしたいと思う。事務局から説明をお願いする。
○事務局	会議の公開について説明する。 本市では、審議会等の会議は、「審議会等の会議の公開に関する指針」

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○委員長	<p>に基づき、個人に関する情報を審議する場合などを除き、公開を原則として審議会等に諮ったうえで決定することとしている。また審議に関して提出された資料についても、傍聴人に閲覧、配布することができることとしている。会議録もその作成と公表を基本としており、本審議会の会議録もホームページ等により公表していきたいと考えている。</p> <p>会議録の内容は、要点筆記の形で、また会議録に表記される発言者のお名前も、委員の皆さまのご承諾をいただければ公表してまいりたいと考えている。なお、会議録は事務局で作成した案を檜谷委員長にその内容をご確認いただいたうえで、公表したいと考えている。</p> <p>今後非公開とすべき案件が発生した時には、会議の非公開を決定することとして、それまでは原則に基づき会議は公開とし、資料も傍聴者への閲覧、配布を許したいと思う。また会議録に表記される発言者の名前も公表してよいのではないかと思うが、よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、当審議会は公開とする。傍聴者にも資料を配布願いたい。次に「計画の構成案について」、「基本理念と居住施策のテーマについて」、「具体的施策(案)について」を一括して事務局から説明をお願いします。</p>
○事務局	<p>(事務局説明)</p> <p>計画の構成案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「【資料3】計画の構成案」について報告 <p>基本理念と居住施策のテーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「【資料4】第3章 基本理念と居住施策のテーマ」について報告 <p>具体的施策(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「【資料5】第4章 具体的施策」について報告
○委員長	<p>事務局からの説明は以上である。</p> <p>次回の委員会では、パブリックコメントに向けた素案について協議するため、できるだけ本日の段階で計画内容について意見を頂きたい。</p> <p>特に、「茨木市らしい計画にしていきたい」という思いから、去年の地震台風等の影響を踏まえテーマ3が特出しされている。それぞれの内容について意見があればお願いします。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○白倉委員	<p>【資料4】で整理している課題4のなかに「分譲マンションの適切な管理の維持・増進のための居住者間のコミュニティづくりが必要。」と記載があるが、【資料5】具体的施策にある「施策の方向性 1-2 分譲マンションの主体的な維持管理の推進」にはコミュニティづくりに関する記載がない。</p> <p>また、災害時の対応をどこまで記載するかにもよるが、高齢者、障害者、外国人などの災害弱者についての記載があったほうが良いのではないか。</p>
○事務局	<p>分譲マンションは国の動向を踏まえて行政関与を意識して記載した。しかし、コミュニティの視点は不足していたと思うので、修正等検討していきたい。災害弱者等の視点についても検討を行う。</p>
○吉田委員	<p>資料について、全体的に見やすく、分かりやすく整理されたという印象があるが、本日の内容が次回の数値目標にどのように繋がるのか。</p> <p>定性的に捉えるべき数値目標と、定量的に捉らえるべき数値目標があると思うが、数値指標について、現在、事務局で検討している内容はあるか。</p>
○事務局	<p>どのレベルで設定するかも含め、検討中である。最も分かりやすい整理は、テーマごとに数値目標を設定していく方法であると思うが、テーマより細かいレベル（施策の方向性）で設定していく方法もあると思う。把握しやすい指標にする必要がある。</p>
○吉田委員	<p>テーマにある「住み続けられる」、「住みやすい」、「災害に対応できる」といった形容詞に関係した指標が出てくるイメージだと考えている。</p>
○委員長	<p>あまりに大きな枠組みの目標では、居住施策の効果を測りにくいと思うので、その辺りについても工夫が必要である。</p> <p>何点か確認・提案したい。施策の方向性 1-1「日常からの維持管理の実践」は「持ち家（戸建て）」のみを対象としたものなのか。</p> <p>施策の方向性 1-3「公営住宅をはじめとした賃貸住宅の適正な維持」の内容について、母数は民間賃貸住宅の方が圧倒的に多いので、1-3-1 民間賃貸住宅、1-3-2 市営住宅の順番にしてはどうか。</p> <p>施策の方向性 1-5「住宅確保に配慮を要する人への支援の体制づくり」にある、セーフティネットの内容について公営住宅に関する記載がないので、記載すべきではないかではないか。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>施策の方向性 1-6 「世帯や年齢等に応じた多様な住まいの確保」とあるが、「ライフステージやライフスタイルに応じた多様な住まいの確保」とした方が分かりやすいのではないかな。</p> <p>施策 2-3-1 「住み替えの普及による居住環境の維持・更新」とあるが、「住み替えを促す」といった内容よりは、「住宅の流通促進」のような表現にした方が良いのではないかな。</p>
○吉田委員	<p>委員長の言うように「住み替えの普及」は違和感がある。例えば「住み替えの支援」など、別の言葉の方が良いと思う。</p>
○事務局	<p>施策の方向性 1-1 について、「持ち家」を対象とした施策と考えている。今後は賃貸住宅も含んでいくべきと思うが、本計画では、まずは持ち家を対象とし、その後、ブラッシュアップしていく方向で検討していきたい。</p> <p>施策の方向性 1-3 について、まずは行政でできることを記載しようという考えである。そのため、1-3-1 市営住宅、1-3-2 民間賃貸住宅という順番で整理している。</p> <p>施策の方向性 1-5 について、今後は民間賃貸住宅を活用していく方向性であり、公営住宅の活用は当たり前のこととして記載が少なくなっている。表現の方法は検討する。</p> <p>施策の方向性 1-6 について、「ライフステージ・ライフスタイル」という文言では、カバーしきれない属性があるため、「世帯や年齢等」という表現とした。</p> <p>「住み替えの普及」の表現については、検討したい。</p>
○與那城委員	<p>施策 1-6-1 「若年・子育て世帯の定住促進」について、結婚した子育て世帯向けの取組が大多数だと感じる。若年単身世帯向けに交通利便性の良さをアピールするなどの具体的な取り組みを検討してはどうか。</p>
○事務局	<p>若年・子育て世帯の若年世帯には、単身世帯、子どもがいない夫婦世帯も意識し、含んでいる。具体的な取り組みについては検討する。</p>
○白倉委員	<p>SDGs や防災の関係の質問になるが、茨木市に放置林はあるか。</p>
○事務局	<p>市の多くの山は私有林であり、放置林も多い。里山センターの森林ボランティアが個人の持ち主と調整したうえで山の手入れを行っている。</p>
○白倉委員	<p>SDGs の考え方では、山を整備することで低炭素社会につながるとされ</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ている。
○委員長	住宅における木材利用の視点は記載できないか。
○事務局	施策としての記載については、関係課と協議して検討する。
○板倉委員	人口減少が進む中で、全ての施策に取り組み、底上げすることは難しい。施策等については、特化した形で記載しても良いと思う。例えば、今後影響が出てくるであろう生産緑地について、施策として書けないだろうか。
○事務局	生産緑地は、都市政策課が担当しているが、基本的には継続してもらえるように働きかける方針である。 また、茨木市立地適正化計画において、現在の住宅地を維持していく方向性を示している。本計画についても、その方向性を踏まえて策定していく。
○吉田委員	サービス付き高齢者向け住宅がこの10年で大きく増えたと思う。問題になったような事例はあるか。
○事務局	茨木市の住まいの現況把握として、市内にある住まいの種類と種類ごとの数について、整理したいと考えている。サービス付き高齢者向け住宅の増加で何か問題があったという話は聞いていない。 なお、「大阪府高齢者・障がい者住宅計画」において、平成28年度から平成37年度（令和7年度）までの10年間で、府内で新たに必要となる高齢者向け住宅は2万戸であるという推計が公表されている。
○委員長	子育て支援の施策として、保育サービス等について記載してはどうか。
○事務局	どの範囲まで本計画で記載するかという話になるが、他計画で詳しく記載のある内容については、記載しない方向で整理している。また子育て支援施設の配置については、茨木市立地適正化計画において記載されている。
○梶野委員	資料は分かりやすくまとまっていると感じる。 随所にコミュニティという言葉が入っているが、実践的なところに踏み込めていないように感じる。実際には、地域の運動会や防災訓練を行っても人が集まっていない現実がある。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○委員長	コミュニティという言葉が、ただの言葉だけではなく、実質化していくようにしていかなければならない。
○室委員	私の住んでいる地区では、地域活動への参加者が多く、コミュニティは保たれていると思う。 民生委員として、地域団体等と連携し、いざというときに一人も見逃さず支援できるように活動をしていきたいと思う。このような取り組みが居住施策と連携できれば良いと感じる。
○吉田委員	今後外国人が増えていくと思われるが、そのあたりについての記載はどう考えているか。
○副市長	外国人の話は念頭に置かなければならないと考えている。茨木市内の事業所においても、働き手不足への対策として外国人を雇用していく可能性はある。
○委員長	神奈川県は外国人の住宅問題に対応する仕組みをつくっている。住宅確保要配慮者のカテゴリーには外国人も入っているので、計画に盛り込んでおくのも一案だと思う。
○吉田委員	立命館大学に授業のすべてを英語で行うコースができた。それに伴い、茨木市内の寮で留学生が住み始める。
○板倉委員	テーマ3に「災害に対応できる居住環境が形成されている」とあるが、市内で耐震診断を受けている住宅数は把握できているのか。
○事務局	耐震診断を受けている住宅数は分らないが、耐震化率は、住宅・土地統計調査のデータをベースに推計値として算出できる、 平成26年度では81.7%と推計されている。 次回委員会は、11月若しくは12月を予定している。開催日程については後日調整する。 本日の意見以外で追加意見があった場合は、10月15日(火)までに意見を頂きたい。
○委員長	本日の委員会はこれで終了する。